

みずほCustomer Desk Report 2018/01/17号 (As of 2018/01/16)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.86
TKY 9:00AM	110.62	1.2267	135.69	1.3795	0.7960
SYD-NY High	110.98	1.2283	136.10	1.3804	0.7975
SYD-NY Low	110.25	1.2196	134.99	1.3742	0.7937
NY 5:00 PM	110.46	1.2260	135.45	1.3796	0.7959
NY DOW	25,792.86	▲ 10.33	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,223.69	▲ 37.38	日本10年債	0.0800	1.00bp
S&P	2,776.42	▲ 9.82	米国2年債	2.0163	1.66bp
日経平均	23,951.81	236.93	米国5年債	2.3526	0.69bp
TOPIX	1,894.25	10.35	米国10年債	2.5380	▲ 1.09bp
シゴ日経先物	23,760	▲ 95.00	独10年債	0.5580	▲ 2.80bp
ロンドンFT	7,755.93	▲ 13.21	英10年債	1.3015	▲ 2.05bp
DAX	13,246.33	45.82	豪10年債	2.7510	2.10bp
ハンセン指数	31,904.75	565.88	USDJPY 1M Vol	7.18	▲ 0.18%
上海総合	3,436.59	26.11	USDJPY 3M Vol	7.49	▲ 0.28%
NY金	1,337.10	2.20	USDJPY 6M Vol	7.78	▲ 0.27%
WTI	63.73	▲ 0.57	USDJPY 1M 25RR	-0.88	Yen Call Over
CRB指数	195.11	▲ 0.95	EURJPY 3M Vol	8.28	▲ 0.38%
ドルインデックス	90.45	▲ 0.52	EURJPY 6M Vol	8.36	▲ 0.24%

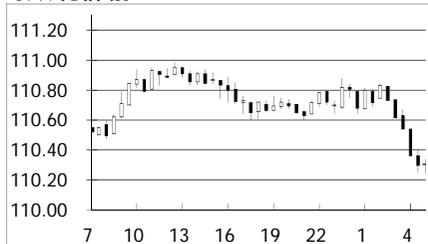
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月16日	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景況指数	1月 17.7	19.0

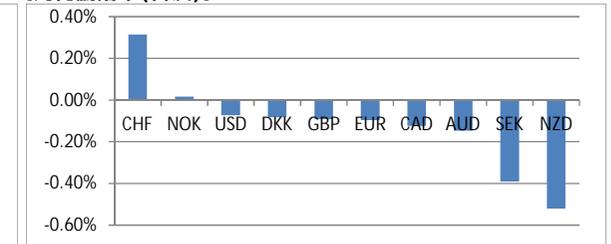
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月17日	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)	12月 0.4%/1.4%	0.1%/1.5%
	19:00	欧 CPIコア(前年比)	12月 0.9%	0.9%
1月18日	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	12月 0.5%	0.2%
	00:00	加 カナダ銀行翌日物貸出金利	-	1.25%
	04:00	米 ベージュブック公表	-	-
	05:00	米 エバンズ・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	05:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
06:30	米 マスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.80	1.2230 - 1.2350	134.80 - 136.20

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は米政府機関閉鎖への懸念からドル円は110円台後半から110.25円まで下落する場面が見られた。本日のドル円は引き続き軟調推移になると予想する。日欧の中央銀行が金融緩和縮小に向かうとの観測や米政府機関閉鎖への警戒感からドルは売られやすい展開が継続しよう。110円台前半には大口の買いオーダーがあると予想されるものの、心理的節目である110円丁度を割り込むような展開となれば、ストップを巻き込むことで大きく下落するだろう。

東京	東京時間は110円台後半まで上昇するも111円目前では上値が押えられた。朝方は110.62レベルにてオープン、日経平均の堅調な推移等を背景にドル円が買い戻される展開。仲値にかけては買い戻しが更に加速し110円台後半まで上伸した。その後は、700円の上昇を背景に一時111円手前まで買い戻されるも、一段と上値を迫る展開とはならず。また、茂木経済再生相から「為替レートは様々な要因が背景で決まる」との発言がなされたが反応は限定的だった。午後に入ってから高値圏でもみ合いが継続し、一時高値110.98まで回復する場面も見られたが結局111円には届かず、110.87レベルにて海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.87レベルでオープン。独政局不安から110.60まで売られるも、米株価指数先物の上伸を背景に、押し目買いが優勢となり、110.72レベルでNYに渡った。ユーロは1.2267レベルでオープン。独社会民主党で、保守系会派社教民主・社会同盟(CDU・CSU)との大連立政権について、ベルリツ党支部と東部ザクセン・アンハルト州支部が否決したことや、ECBが、来週の理事会で資産買い入れを続けることとガイダンスを取り下げる可能性は低いと、3人の関係筋が語ったこと等が意識され、一時1.2202まで下落。1.2232レベルでNYに渡った。ポンドは1.3788レベルでオープン。EU大統領が「英国がEU離脱撤回するなら歓迎、方針変更は依然可能」との見解を示し小幅に買われる場面もあったが、市場予想を下回る英12月CPIを受けて1.3742まで下落。1.3763レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は110.72レベルでNYオープン。朝方発表された米1月ニューヨーク連銀製造業景況指数は予想を下回ったが市場の反応は限定的。米株が大幅高で寄り付き、堅調な推移を維持する展開にドル円は110.88まで上昇。その後は110円台後半での推移が続いたが、午後に入り「移民問題に関する議論で1月19日以降の米政府閉鎖回避の取り込みが難航」との報道が伝わり、米政府閉鎖懸念から米株がマウス圏に反落したことや、ユーロ、ポンドなどの主要通貨に対しドルが売られたことからドル円は海外時間の安値110.47を下抜けこの日の安値となる110.25まで下落。しかしこのレベルではショートカバー意欲もあり、110円割れを試す展開とはならず、米株も下げ止まったことからドル円は110.46まで値を戻し戻した。なお、日中は「中国の格付け会社、米国の3Dリアと同等レベルに格下げ。"A-"から"BBB"へ引き下げ」との報道が伝わった。一方、ユーロは1.2232レベルでNYオープン。朝方ビルワッド・ガロ-ECB理事の「ユーロ上昇によるインフレへの影響を注視すべき」との発言を受けて1.2196まで下落。しかしこの水準ではユーロ買い意欲も強く、その後ハイトマンECB理事の「年内の資産買い入れ終了が適切だろう」との発言を受けて1.2281まで反発し、1.2260レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田家 森谷